

小5

社会

単元テスト

こたえ

なまえ

米づくりのさかなな地域

が ち

制限時間 30分 100点満点

教科書やノートを見ないで、時間をはかって解きましょう。

1 米づくりのさかなな平野

石狩・越後・庄内はひらがなでも ○

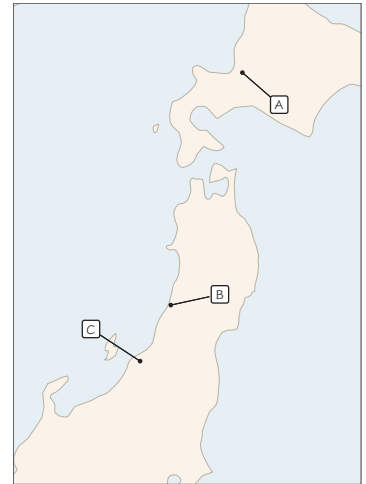
知識・技能

(18点)

- (1) A～Cの平野の名前を書きましょう。(1つ4点) (12点)

A 石狩平野 B 庄内平野 C
越後平野

- (2) Cの平野を流れ、日本でいちばん長い川を書きましょう。(6点)
-
- 信濃川 「しなの川」でも ○



2 米づくりと農家のくふう

知識・技能

(32点)

- (1) 田に水を入れて、土をくだいて平らにする作業を しろかき といいます。(6点)
- (2) 夏に田の水をぬいて土をかわかし、いねの根をじょうぶにする作業は (中ぼし・田おこし・だっこく) です。(4点)
- (3) いねかりとだっこくを同時に行う機械は (コンバイン・トラクター・田植え機) です。(4点)
- (4) 「小さく分かれた田を大きな長方形の田に整え、機械を使いやすくすることを 品種改良 といいます。」下線が正しければ ○、ちがえば直しましょう。
耕地整理 「ほ場整備」でも ○
- (5) 国が、米の生産量をへらすように農家に求めてきた取り組みを 生産調整 といいます。「減反」でも ○ (6点)
- (6) 農家から米を集めて出荷したり、肥料を売ったり、米づくりの相談にのったりする組織を 農業協同組合 といいます。「JA」「農協」でも ○ (6点)



小5

社会

単元テスト

こたえ

なまえ _____

米づくりのさかんな地域 2まいめ

3 グラフを読もう

③ $23 \div 146 = 0.15 \dots \rightarrow$ 6分の1

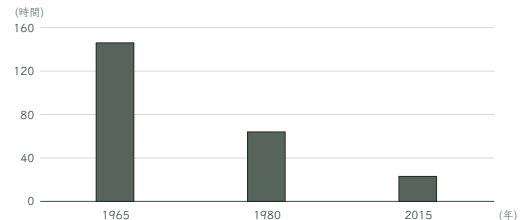
知識・技能

(20点)

- (1) 労働時間がいちばん少ない年は

2015 年です。

- (6点) 10アールあたりの米づくりの労働時間(農林水産省の統計から。数はおよそ)



- (2) 1965年から1980年までに、労働時間

はおよそ何時間へりましたか。

イ

- (5点)

ア 40時間 イ 80時間 ウ 120時間

- (3) 2015年は、1965年のおよそ何分の1

ですか。

ウ

- (5点)

ア 2分の1 イ 3分の1 ウ 6分の1

- (4) へり方が大きいのは

(1965～1980年)・1980～2015年)

- (4点)

です。

4 考えて書こう

思考・判断・表現

(30点)

- (1) 消費量がへる中で米を多く作り続けると、
-
- 農家にはどんな問題が起こりますか。

(例)米があまって、ねだんが下がり、農家の収入がへってしまう。

「あまる」と「ねだんが下がる」の両方で15点。片方は8点

- (15点) 1人1年あたりの米の消費量(農林水産省の統計から。数はおよそ)



- (2) 農家が新しい品種など、味のよい米づくりに取り組むのはなぜですか。グラフの数にふれて書きましょう。

- (15点)

(例)消費量が約118kgから約51kgにへる中、ほかの産地とちがいを出し、買ってもらうため。

「消費量がへった(数)」と「ちがいを出して買ってもらう」で15点。片方は8点。数がなければ3点引く

